



# 2018年《第32号》 市議会 ニュース 田村しんいちろうNEWS

●発行所：公明党川崎市議会議員団 ●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345  
●発行人：田村伸一郎 ●住所：川崎市宮前区宮崎5-14-13-301

川崎市議会 2018年(平成30年) 第4回定例会  
●一般質問●

プロフィール  
健康福祉委員会委員長  
花の台町内会会長  
宮前平小学校前PTA会長

## 英語教育にフォニックス学習方法の導入を!

2020年度から小学5・6年生の「英語」が正式な教科になります。小中高と10年間学んでも日常会話すらできない国の英語教育に批判の声がある中、「フォニックス指導方法」が注目されています。字と音を対応させて覚えていくという方法ですが、世界の小学校で普及し多くの子どもたちが英語を話しています。本市の見解を伺いました。

教育次長は、「フォニックスの学習方法は主に中学校で取り扱っている。今後も英語教育のさらなる充実を図っていく」と答弁。田村議員は、小学校でも先生方の不安感や負担感を軽減し、子どもたちと一緒にやる気を生む指導方法だと、推進を要望しました。



## 市立川崎病院に手話通訳の配置を!

2016年4月の障害者差別解消法施行で、病院等の医療機関が音声情報を目で見てわかる情報に変える「情報バリアフリー」の推進が求められます。政令指定都市の札幌市、大阪市、広島市はすでに市立病院に手話通訳者を配置。田村議員は、川崎市立川崎病院への検討状況を質しました。

病院局長は、「川崎病院で聴覚障害者は手話通訳派遣事業による通訳の利用が可能だが、急な受診時は困難な場合があるなど、課題が指摘されている」と答弁。「すでに配置している他都市の情報収集を現在しており、調査・検討していきたい」と約束しました。田村議員は、ぜひ配置に向け幅広く情報を集め、検討を進めていただきたいと要望しました。

## 妊産婦を地域で支える体制の充実を!

国立成育医療研究センターの調査で、2015～2016年にかけて全国で死亡した妊産婦357人のうち、102人が妊娠中から産後に自ら命を絶ったという衝撃的な結果が出ています。約半数が35歳以上で65%が初産だそうです。

産後うつや他の精神疾患



がある人等不安を抱える妊産婦を地域で支えることが非常に重要です。これまで求めてきました、「産前産後家庭支援ヘルパー事業」も対象者が産後6カ月まで拡大、また、「産後ケア事業」についても、こども未来局長は新たに来所型を開始したことを明らかにし、さらに産後の健康づくりに向けても総合的に取り組んでいくと約束しました。

## 皆様の声をカタチに喜びの声が届いています!

### 宮前平小学校正門に「防犯カメラ」を設置!

PTAの皆様から児童の安全対策のため防犯カメラの設置の声をいただいていた。田村議員は花の台町内会と連携して「防犯カメラ設置補助金」を活用して設置、安心が守られました!



### 菅生みどり公園に「トイレ」を新設!!

田村議員は、3年前に公園を利用している皆様からトイレの設置を切望する声を頂き、宮前区道路公園センターと連携を図り実現の運びとなりました。多くの喜びの声が届いています。



(菅生2丁目付近)

### 待望のカーブミラーが設置!

路地から交通量の多いバス通りへ進入する際、街路樹などが死角となり危険との声がありました。田村議員は相談を受け、宮前区役所道路公園センターと連携を図るなど設置に向けて取り組みました。「見やすくなって良かった」「これで安心です」と感謝の声が届いています。



### 県立森林公園施設に4台の大型エアコンが設置!

読み聞かせ等の利用者の皆様から「子ども達の為にエアコンを設置してほしい」との声があり、田村議員は、県と連携を図り実現に至りました!



### 平風久保公園に遊具が設置!

地域の皆様から、「子どもたちが楽しめる遊具の設置」を求める声を受け、田村議員は、道路公園センターと連携を図り、すべり台と鉄棒を設置しました。子供たちからの喜びの声が届いています!



(平1丁目付近)

### 稗原小学校の通学路の安全が前進!

田村議員は、保護者から通学路が危険との不安の声を受け、道路公園センターと教育委員会と連携を図り、路側帯など整備を行いました。



(水沢3丁目付近)



## 田村しんいちろうのホームページがリニューアル!

市民相談などお気軽に声をかけてください。

www.tamura-shin.com/

●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話:044-200-3361 FAX:044-245-4137

E-mail tamura@komei-kawasaki.com

